

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第19週 (5/9-5/15) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	19週	18週	17週	16週
小児科	18	18	17	18
眼科	5	5	4	5
インフルエンザ*	28	28	26	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	5/9-5/15	5/2-5/8	4/25-5/1	4/18-4/24	5/2-5/8
			19週	18週	17週	16週	18週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	1
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	6	0	6	22
	感染性胃腸炎	○	105	73	77	127	320
	水痘		1	0	3	0	10
	手足口病		1	1	0	0	6
	伝染性紅斑		0	0	1	1	0
	突発性発しん	○	18	11	12	15	54
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		3	0	0	0	5
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	1
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	0	0	0	1
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 1,143 例 ※ 新型コロナウイルス感染症1,140例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	50歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第19週は、結核2例(57)、レジオネラ症1例(4)、新型コロナウイルス感染症1,140例(55,602)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第19週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週より増加し5.83となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。1歳が最も多く、次いで2歳が多い。区別の発生状況は若葉区(15.50)が最多で、同区の2歳で最も多く発生報告があった。

<突発性発しん>

前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると多い。6-11か月が最多。区別の発生状況は、若葉区及び緑区(共に1.50)が最多で、若葉区では1歳、緑区では6-11か月で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf